

事業説明会 プロジェクト本部の取組みについて

2011年10月4日

三井物産株式会社
プロジェクト本部



(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



三井物産株式会社



Agenda

MITSUI & CO., LTD.

- プロジェクト本部の位置づけ
- プロジェクト本部 概要
- 分野別戦略
- 質疑応答



Agenda

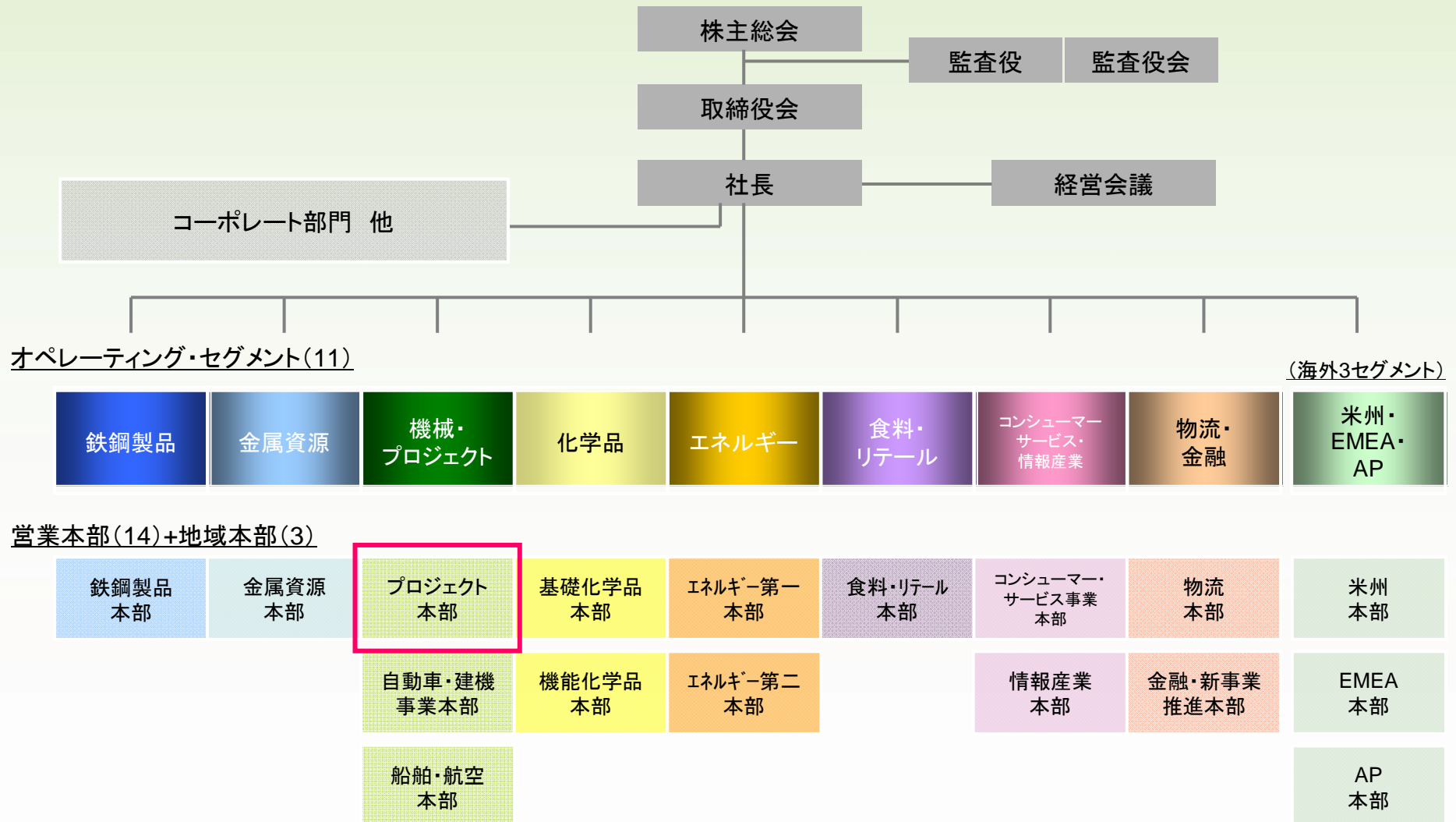
MITSUI & CO., LTD.

- プロジェクト本部の位置づけ
- プロジェクト本部 概要
- 分野別戦略
- 質疑応答



プロジェクト本部の位置づけ

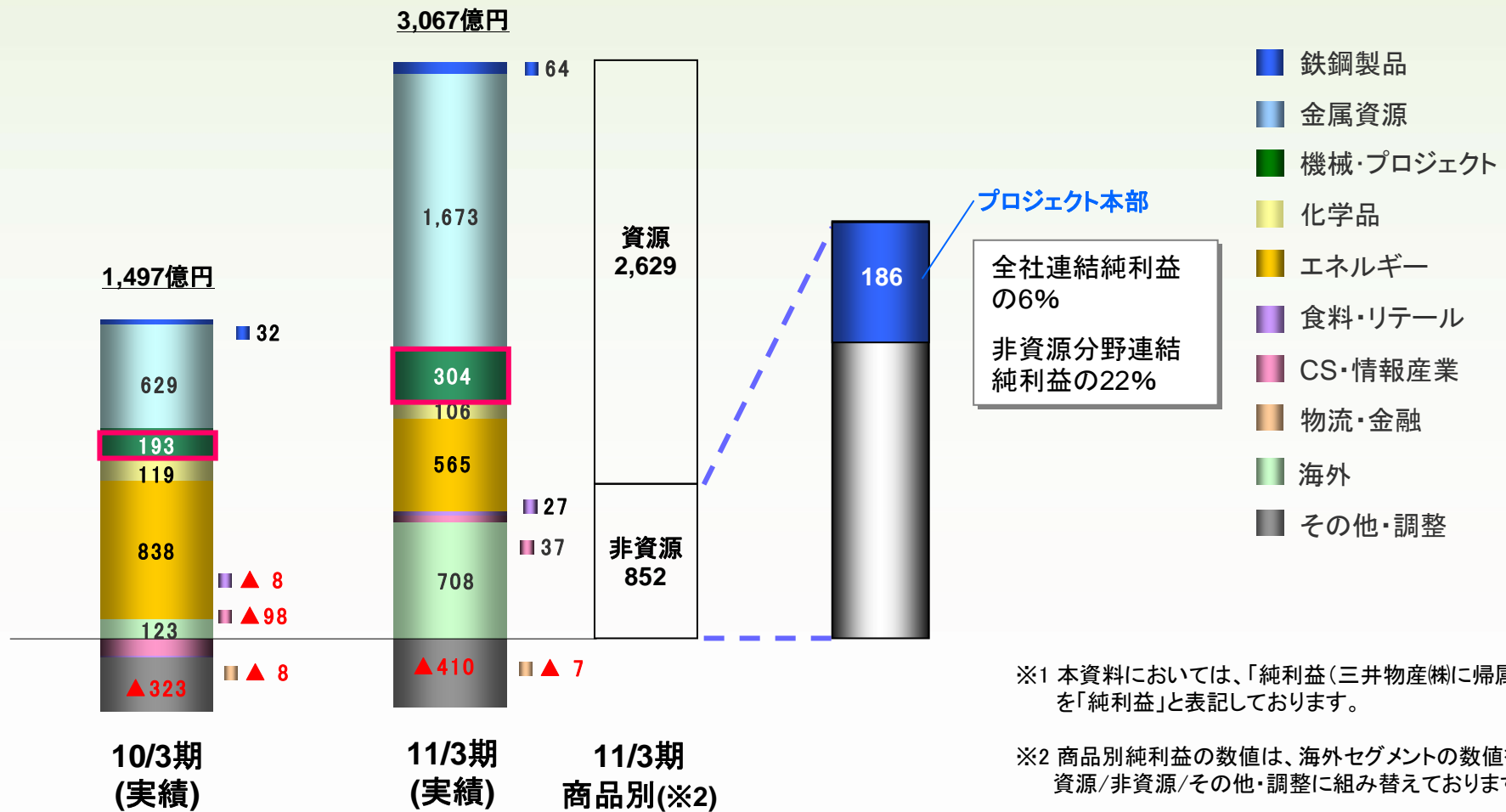
MITSUI & CO., LTD.





プロジェクト本部の位置づけ

[セグメント別連結純利益※1 (単位:億円)]



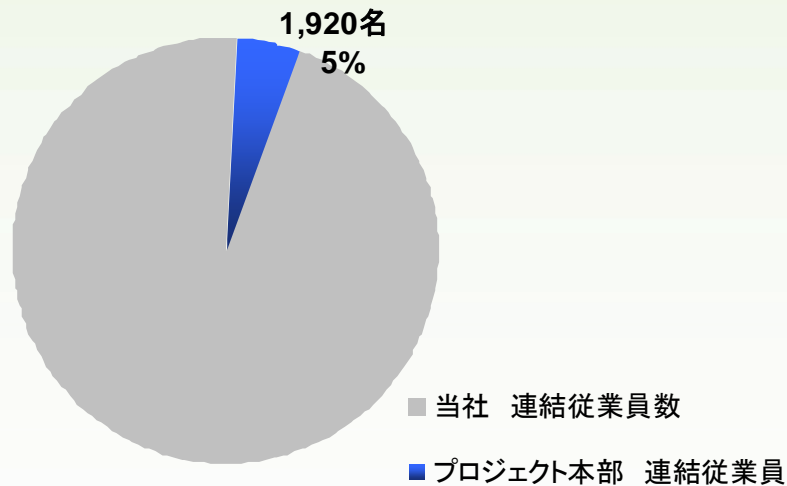
※1 本資料においては、「純利益(三井物産(株)に帰属)」を「純利益」と表記しております。

※2 商品別純利益の数値は、海外セグメントの数値を資源/非資源/その他・調整に組み替えております。



プロジェクト本部の位置づけ

[人員体制]



当社 連結従業員数: 40,026名

当社単体従業員数: 6,095名

プロジェクト本部 連結従業員数: 1,920名

プロジェクト本部 単体従業員数: 474名



Agenda

MITSUI & CO., LTD.

- プロジェクト本部の位置づけ
- **プロジェクト本部 概要**
- 分野別戦略
- 質疑応答



プロジェクト本部 事業領域

MITSUI & CO., LTD.

<事業領域>

<事業内容>

<主な連結子会社・関連会社>

電力

電力事業・物流EPC・サービスへの
総合的取り組み

三井物産電力事業(株)

Paiton Energy(インドネシア)、
MT Falacon、Valladolid(墨)、Ontario(加)、
IPM Eagle、IPM UK(英)、
Ras Laffan C(カタール)、Amman East
(ヨルダン)、Um Al Nar(UAE)

再生可能エネルギー

風力、太陽光/熱、スマートシティを含む
低炭素社会インフラ事業

ブラズ風力(米)、ザヤツコ風力(ポーランド)、
Guzman太陽熱(西)、響灘風力、
市原グリーン電力(バイオマス)

エネルギー・基礎産業

石油・ガス等の資源エネルギー関連
インフラ開発

Mitsui Gas e Energia do Brasil(ブラジル)、
Manzanillo LNG受入ターミナル(墨)

交通

交通リース、交通・輸送インフラ開発

MRC(米)、MRCE(蘭)、MRCLA(ブラジル)

水

上下水道、排水処理、
海水淡水化事業

Atlatec(墨)、Galaxy New Spring(星)、
Thai Tap Water(タイ(*AP本部が保有))

三井物産プラントシステム、東洋エンジニアリング、
東京国際エアカーゴターミナル



発電事業ポートフォリオ

MITSUI & CO., LTD.

2011年9月末現在

当社持分発電容量(ネット): 5.2GW
(グロス容量: 23GW)





電力分野以外の主要インフラ・プロジェクト

MITSUBI & CO., LTD.

2011年9月末現在





『在り姿』 = 主体的事業開発者、自立的事業運営者

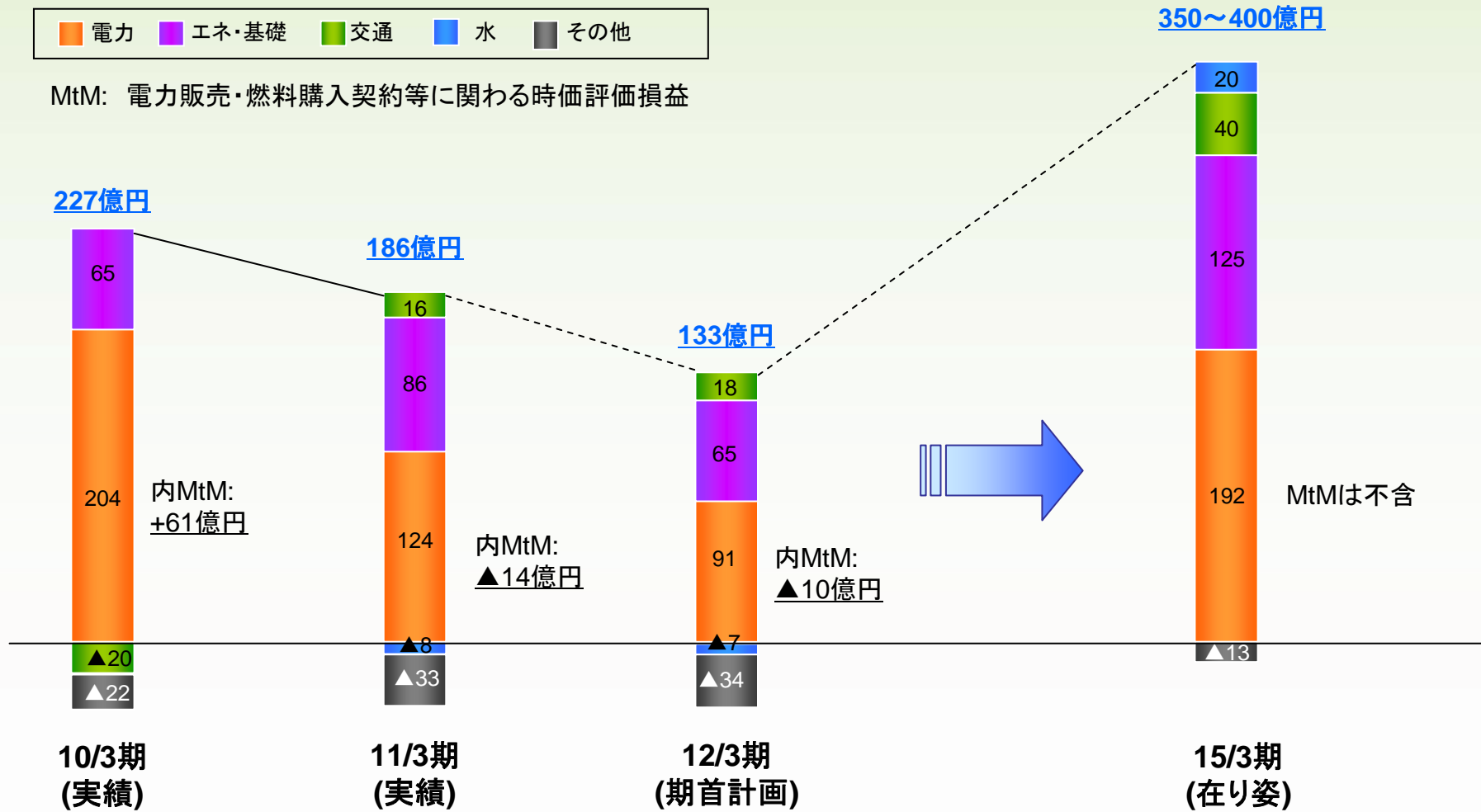
- 「プロジェクト開発」を当本部の強さの源泉として、インフラ需要の旺盛な新興国を中心に、地域ノウハウ、ファイナンス構築力、EPC取り纏め等の機能を発揮し、新規インフラ事業を開発
- 現時点で民活インフラ整備の代表的ビジネスモデルである電力(IPP)がコア領域であり、このモデルをエネルギー・基礎産業、水、交通等他分野にも応用・展開
- 更なる成長を目指し事業運営機能深化と事業管理体制強化を推進
- 開発/運営/Exitのサイクルを通じ、良質なインフラポートフォリオを構築
- 他本部との協業により総合力を発揮し、新市場創出、新事業開発に挑戦



プロジェクト本部 連結純利益 推移



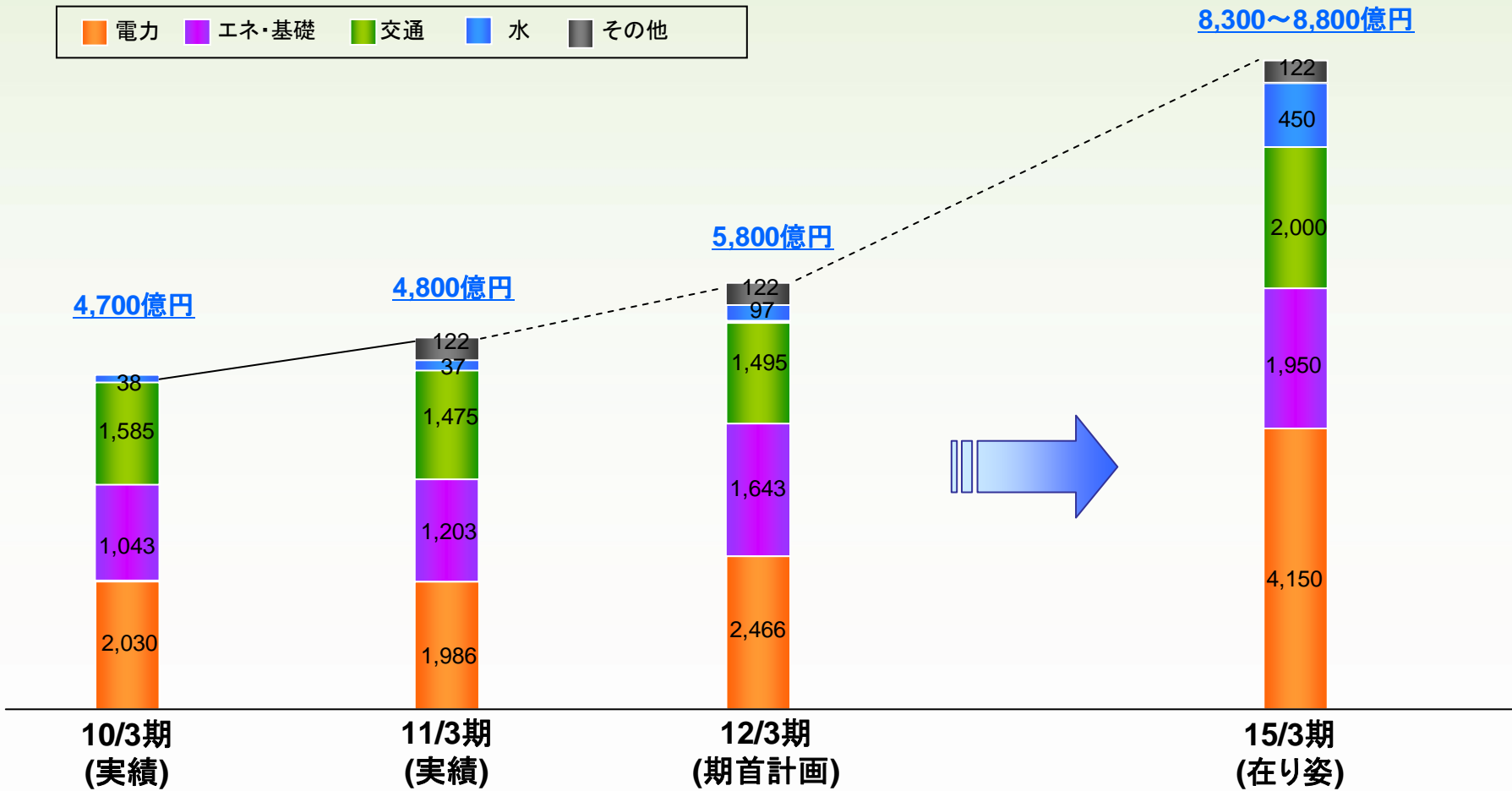
MtM: 電力販売・燃料購入契約等に関わる時価評価損益





プロジェクト本部 事業性資産推移

* 事業性資産とは、投資により生じた有価証券、長期貸付金、売掛金、固定資産等の非流動資産合計





Agenda

MITSUI & CO., LTD.

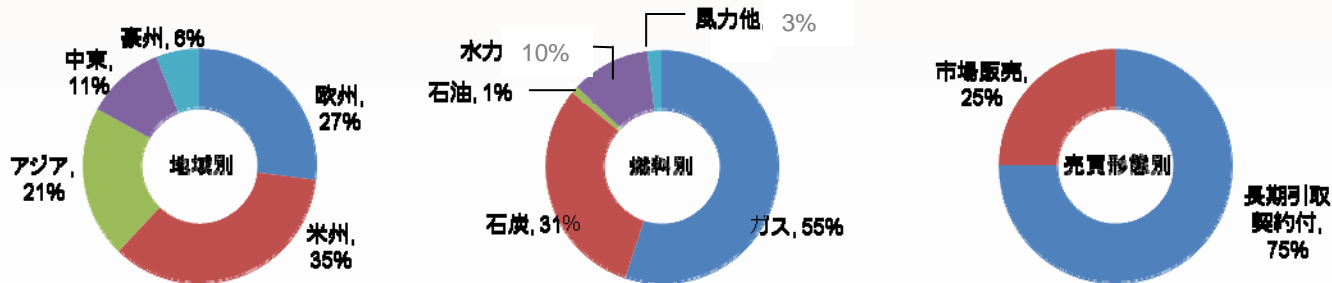
- プロジェクト本部の位置づけ
- プロジェクト本部 概要
- **分野別戦略**
- 質疑応答



◆ 戦略

- 今後20年間で7兆ドルの市場規模と言われる発電事業投資は当本部コア領域。5年後を目途に、当社ネット発電容量10-12GW迄拡大目安(現持分容量:5.2GW)
- 再生可能エネルギーの戦略的取組み(当社持分容量の10%程度を目安(現状3%))
- 過去の実績、経験に基づき、地域特性、当社役割、事業規模等を勘案の上、オペレーターシップ・モデル(事業運営主導型)、パートナーシップ・モデル(パートナーとの機能相互提供型)を選択
- 東南アジア、北米、中東、アフリカを短期注力地域、中国、インドを中長期注力地域として取組みを推進
- 地域、燃料、電力販売形態、モデルのバランスのとれたポートフォリオ

ポートフォリオ分類 (地域・燃料・販売形態(マーチャント、PPA))





<取組み事業例>

1.MT Falcon /メキシコ

メキシコにおけるガス火力発電の運営事業(5発電所)

- 買収年:2010年
- 発電容量:2,233MW
(当社持分:893MW)
- 出資比率:
三井物産40%、東京ガス30%、
中部電力20%、東北電力10%



2.Paiton/インドネシア

インドネシアにおける石炭火力発電の運営事業(2発電所)

- 商業運転開始:1999年(パイトン1)、2012年(予定、パイトン3)
- 発電容量:2,045MW
(当社持分:1,017MW)
- 出資比率(Ultimate比率):
三井物産50%、
英International Power31%、
東京電力14%、ローカル5%



3.IPMUK /英国

英国におけるガス火力発電の運営事業(5発電所)

- 買収年:2007年
- 発電容量:4,978MW
(当社持分1,245MW)
- 出資比率:
英International Power75%、
三井物産25%



4.Guzman Energia/スペイン

スペインにおける太陽熱発電の運営事業

- 商業運転開始:2012年(予定)
 - 発電容量:約50MW
 - 出資比率:
西FCC70%、三井物産30%
- ※年間3万トンのCO₂削減効果

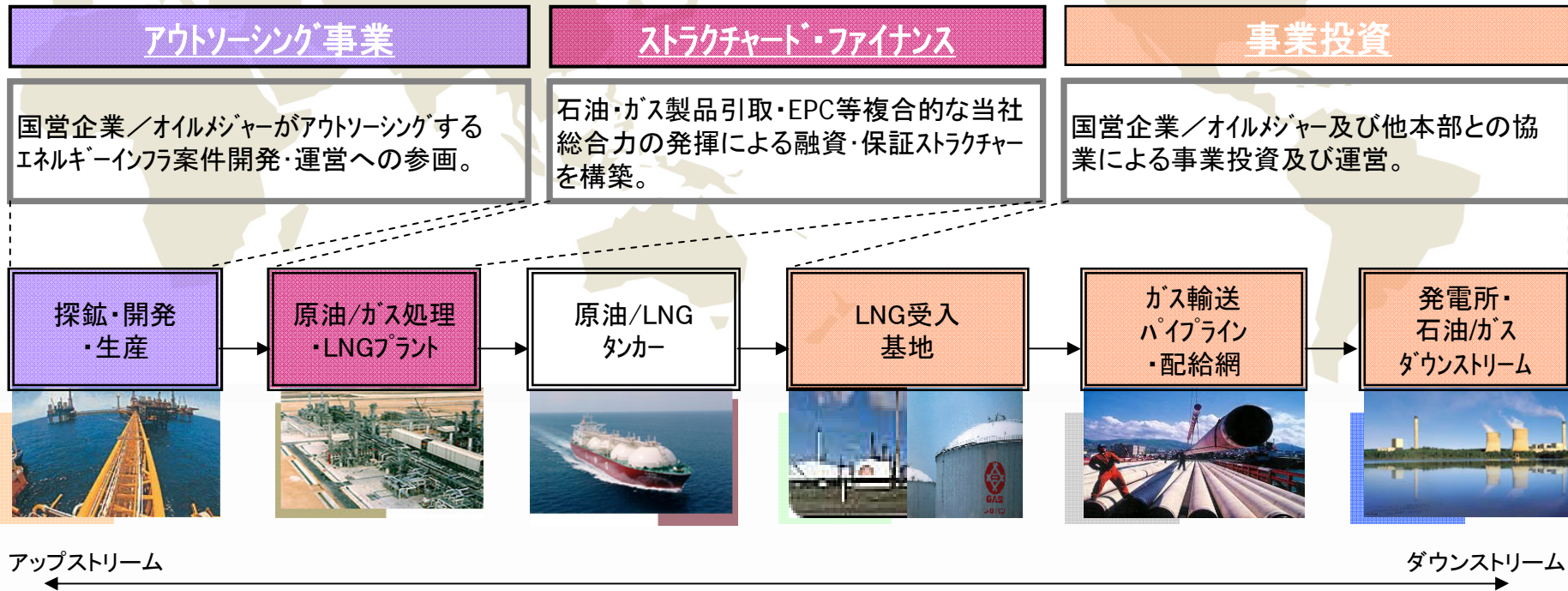




戦略

- ・ 重点地域である米州、成長ゾーンのアジアを中心とした取組み
- ・ 石油・ガス バリューチェーンの要所を押さえたプロジェクト開発や事業投資等、グローバルなエネルギー需給や経路の変化を先取りした取組み
- ・ 他本部(エネルギー、化学品、船舶等)との協業による案件開発

<ビジネスモデル別取組み>





<主な取組み事例>

ドリルシップ・FPSO/ブラジル

ブラジルにおけるドリルシップ事業

●案件概要:

ブラジルの国営石油会社 (Petrobras) 向けに深海油田の掘削を行うドリルシップ事業

●事業会社: P&M ドリリング・インターナショナル・ビー・ブイ社

●事業規模:

- ドリルシップ事業: 約7.5億ドル



PDVSA 融資買油/ベネズエラ

ベネズエラにおけるPDVSA向け融資案件 (3案件)

●案件概要:

ベネズエラの国営石油会社 (PDVSA) 向けの国内製油所の設備改修資金の融資案件。

原油及び石油製品の引取りの前払融資として供与するストラクチャーを構築。

● 融資額: 42.5億ドル



Mitsui Gas /ブラジル

ブラジル国内7州での天然ガス配給事業

●会社名: Mitsui Gas e Energia do Brasil (設立2006年)

●事業規模

-投資額: 約2.5億ドル (当社100%)

-ガス販売量 (合計): 約11百万m³/日

*ブラジル全体のガス販売量の約18%相当

三井物産株式会社

出資100%



出資24.5%

ガス配給会社 (7社)





戦略

- ・ 米、欧、ブラジルの三極で展開する既存貨車・機関車リース事業の基盤強化と拡大、ロシア・アジア等成長市場におけるリース事業横展開
- ・ リース機能を核とした鉄道物流ターミナル運営・貨物鉄道輸送オペレーター等の新たな取組への挑戦

<リース3事業>

Mitsui Rail Capital, LLC



米国貨車リース事業(1996年～)
 貨物:石炭・セメント・鋼材・建設資材等
 貨車数:8,300両

Mitsui Rail Capital Europe



欧州機関車リース事業(2004年～)
 貨物:コンテナ、石炭、自動車等
 機関車数:276両

Mitsui Rail Capital Participações



ブラジル貨車リース事業(2004年～)
 貨物:穀物、大豆油等
 貨車数:6,000両



水分野

戦略

- ・ 2025年には0.9兆ドルの市場規模と言われる水市場の成長取り込み
- ・ 既に参入した市場の深掘り、2008年に買収したAtlatec機能の活用や中国市場のパートナーであるHyfluxとの戦略的提携によるグローバルな展開
- ・ Thai Tap Water同様、地場パートナーとの協業による新市場の開拓
- ・ 15/3期在り姿として、当社持分サービス人口:1,000万人を目指す(現状730万人)

<水分野 主要3事業>

Thai Tap Water/タイ上水供給事業

- 会社名: Thai Tap Water
- 商業運転開始: 2004年
- プロジェクトスキーム: BOO(30年)
- 出資比率: Ch. Kamchang 35%
三井物産(AP本部) 26%、
その他 39%
- 事業内容:
- タイ国地方給水公社に対する30年間の上水供給



Atlatec/メキシコ水処理事業会社

- 会社名: Atlatec, S.A. de C.V
- 買収年: 2008年7月
- 出資比率: 三井物産 85%、
東洋エンジニアリング 15%
- 事業内容:
- 産業廃水・下水処理分野のエンジニアリング
- 水処理事業の開発、設計、建設、操業、投資業務



Galaxy社/中国水事業

- 会社名: Galaxy NewSpring Pte Ltd.
- 設立年: 2010年8月
- 出資比率: 三井物産 50%、
ハイフラックス 50%
- 事業内容:
中国での上下水・リサイクル水事業の開発、操業、運用管理、投資業務





Agenda

MITSUI & CO., LTD.

- プロジェクト本部の位置づけ
- プロジェクト本部 概要
- 分野別戦略
- 質疑応答



=END=